

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ロボット支援下肺悪性腫瘍手術の初期経験と reduced-port RATS への移行
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2024年11月から2026年3月までの間に新潟大学医歯学総合病院で研究責任者が行ったロボット支援下肺切除患者 研究責任者：新潟大学医歯学総合病院 呼吸器外科 後藤達哉
③概要	ロボット支援下肺切除術が低侵襲手術の一つとして広く定着してきました。更なる低侵襲やコストの観点から、「キズの本数を少なく」・「キズを小さく」するロボット支援下手術を行うようになったため、従来の方法と比較し、手術の安全性やどれくらいコスト削減ができてきているかを検討します。研究対象者の電子カルテ上に保存された情報を遡って収集します。「⑪お問い合わせ先」に連絡していただければ拒否をすることができ、拒否しても不利益はありません。
④申請番号	2025-0386
⑤研究の目的・意義	ロボット支援下肺切除術は、5か所のキズで行う方法が一般的ですが、より低侵襲でコスト削減にもつながるキズを少なくした方法へ移行しました。①初期経験を周術期成績の観点から検討し、②キズを少なくしたロボット支援下肺切除術へ安全に移行できているかとコストを比較・検討します。安全に手術が行えていることを確認し、課題があれば改善することで今後の手術手技の向上を期待できると考えます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2026年12月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、画像検査結果、呼吸機能検査結果、手術記録を利用します。使用するデータは、個人を特定することができないようにして研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、BMI、喫煙指数、周術期合併症、胸腔ドレーン留置期間、入院日数）、画像検査結果（臨床病期）、呼吸機能検査結果、手術記録（術式、リンパ節郭清範囲、手術時間、コンソール時間、出血量、使用した自動縫合器数、癒着の有無）
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学医歯学総合病院 呼吸器外科 利用者・研究責任者：新潟大学医歯学総合病院 呼吸器外科 後藤達哉
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 呼吸器外科 助教 後藤達哉

④お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院 呼吸器外科 氏名：後藤達哉 Tel：025-227-2243 E-mail：tgoto@med.niigata-u.ac.jp
----------	---